



KUMASANKA /
SINCE 1996



小淵沢から茅野あたりまで局地的な豪雨だったが、諏訪湖を過ぎると雨は降っていなかった。



松本駅に4分遅れて10:03に到着。ホームで吉松さんと、改札で布目さん、石井さん、能勢さんと合流



新穂高温泉行のバスは10:40であり、駅外にある傳木野にて、蕎麦で腹ごしらえ



松本バスターミナルを定刻10:40に発車したが、市内を抜け出るのに渋滞につかまり、ノロノロが続く。

途中、平湯温泉(12:10)でトイレ休憩があり、新穂高ロープウエーには15分遅れの13時に到着。

急に雨が降り出し急いで駅舎に飛びこむ



ロープウエーの発車は各時 00 分、30 分で次の 13:30 を待つ。

切符売り場にハカリがあり、ザック重量が 6 kg 以上だと ¥300 の追加料金。

体重 45k でザック 6 k なら 300 円払わされ、体重 90k でも、ザックが 5 k なら追加支払いなし？

何か納得いかないなー



第一ロープウエーは 4 分で鍋平高原駅に着き、第二ロープウエーのしらかば平駅に向かう



第二ロープウエーは珍しい 2 階建てで、上が 50 人、下が 70 人の 120 人乗りだ。



西穂高口駅 13:50 に到着し、登山届を提出後、念のため雨に備えザックカバー等の準備をする。



ロープウェイ山頂駅（西穂高口：2156m）で記念写真を撮り、14:15 に西穂山荘に向けて出発する。



山頂駅から5分程歩くと、登山届出所があり、霧雨が降ってきたため、ここで雨具を着て再スタート



30分毎に小休止を入れ、花の写真を撮りながら淡々と進む。初日往路で見かけた高山植物は・・・



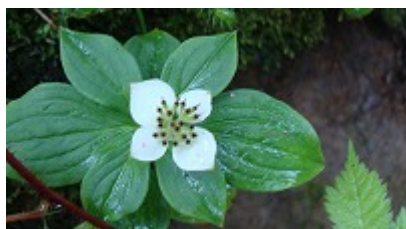
オンタデ



ギンリョウソウ



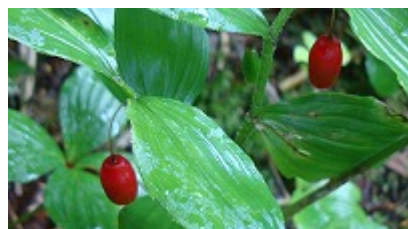
キヌガサソウ



ゴゼンタチバナ



マイズルソウの実



オオバタケシマラン



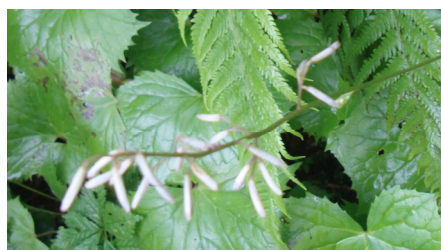
ショウジョバカマの実



アカモノ



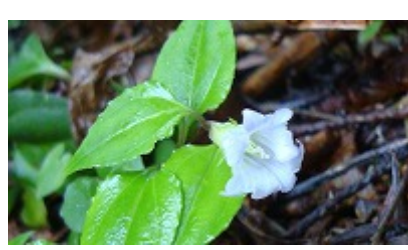
ムシカリの実



カニコウモリ



ヤマブキショウマ



オヤマリンドウ



オタカラコウ



ハリブキ



クロトウヒレン



オンタデ



ベニバナイチゴ



エンレイソウの実



オトギリソウ



クロトウヒレンの蕾



小雨の中、西穂山荘を目指す



歩き始めてから 90 分、やっと西穂山荘に到着（15：45）



夕食が 18：20 でまだ 90 分ほどあり、外のテラスに出て、ワインで乾杯！ 暫くすると小雨がぱらつき、軒下のザック置き場に移動し再び日本酒で乾杯！ 更に別館の喫茶コーナーへ移り、焼酎で乾杯！ 兎に角夕食前から、飲む！飲む！飲む！



夕食は小鉢、味噌汁付きのハンバーグ定食で結構美味しかった。



幸いにも、個室を割り当てられた。
 (しかも、追加料金なしで)、
 吉松さんは一人、朝食を取らずに早出して西穂高岳山
 頂を目指すことになった。

20 時頃、明日の好天を祈りつつ、床に就きました。



二日目 (8月19日)

4:30 早出組と共に、吉松さんが
 山頂を目指して出発する。



残った 7 名は 5:00 朝食。鯖味噌煮だ。



全員ヘルメットを装着し、山荘前で記念写真を撮り、
 不要荷物を山荘にデポして、一面濃いガスの中、先ずは丸山に向け 5:35 出発する。



山荘を出るといきなり大きな石が積重なった急な岩稜の登りが 15 分近く続き、息が切れる。
登り切り平坦なクマザサの登山道に出た頃には、先発した吉松さんは独標（2701m）に到着していた。
(5:46)



大きなケルンがあり、一瞬、丸山かと思ったが、更に 3 分程先にあった。



5:54
最初のピーク「西穂丸山（2452m）」に到着。
相変わらず一面ガスに包まれ何も見えない。
高山植物は多種あり、後程まとめて紹介する。

西穂丸山より上部は完全に森林限界を超えて、岩稜のガレ場だ。ガスが無ければ北アルプスの峰々が一望できるのに、残念！ 高山植物の写真を撮りながら登る。



ガレ場の登りが続き、6:22 に休憩を入れる。丁度その頃、
吉松さんは、既にピラミッド・ピーク（2750m）に到着していた（6:24）



ガレ場の傾斜が徐々にきつくなって、黙々と登る。
この頃、吉松さんは、チャンピオンピークに達していた（6:48）。



6:50 山荘を出発して約 1 時間半、独標の岩稜に取り付く



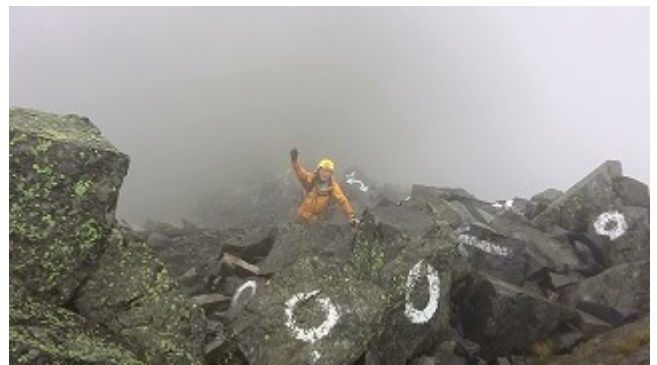
両手、両足をフルに活躍させ、3 点支持を守った登攀が続く



7:03 独標（2701m）に立った。11 峰（独標）とは西穂山頂から数えて 11 個目のピークである。



7:07 独標（2701m）登頂記念の写真を撮る。依然と濃いガスに包まれて何も見えない。



7:10 石井さんがピラミッドピークを目指して先に進む。

他のメンバーは、視界が悪く独標登頂でよし、として、
標識を囲んでここに写真を撮り合う・・・この頃、吉松さんは



7:18
吉松さんは西穂高岳山頂
(2909m) に立って
いた。

おめでとう！！

今回はガスで全く遠望が利かなかったが、16年前の2001年8月18日に、
文さん、堀さん、熊本で登っており、その時の写真を参考までに・・・



独標から仰ぎ見る西穂山頂と
ピラミッドピーク

ガスがなければ、このように見えた
のに・・・今回は残念！



ピラミッドピークから、下を俯瞰
独標、西穂山荘、焼岳、乗鞍岳の
絶景が眺められる筈だったが・・・



独標に20分程いて、Facebookに投稿している雄さんを残し、他の5人は下山を開始(7:20)

丁度そのとき、吉松さんから西穂山頂から下山すると、雄さんに連絡が入った。



独標から約 50 分で西穂丸山に戻り、昨日平湯温泉で調達したキュウリを食べ、水分とビタミン B を補給丸山でユックリ休憩していたが、この頃、吉松さんは独標付近を下っているはずだ。



7 名は 8:45 に西穂山荘に無事帰着した。ここで吉松さんを待つ。 戻るまで 1 時間近くなるはずだ。
西穂山荘付近のお花畑で、そこに咲く高山植物は・・・



シナノオトギリ



クロトウヒレン



サラシナショウマ



タムラソウ



ミヤマウイキョウ



シロヨメナ



ハクサンフウロ



ヤハマハハコ



タカネコウリンカ



イタドリ



ヤナイトリカブト



ナナカマド

西穂山荘から独標にかけて登山道に咲く高山植物は・・・



イワツメクサ



オンタデ



イワギキョウ



タカネスイバ



ハクサンボウフウ



ミヤマキリンソウ



オヤマリンドウ



ミヤマホツツジ



オンタデ



マルバタケブキ



トウヤクリンドウ



イワツメクサ



コケモモ



中崎きぶ



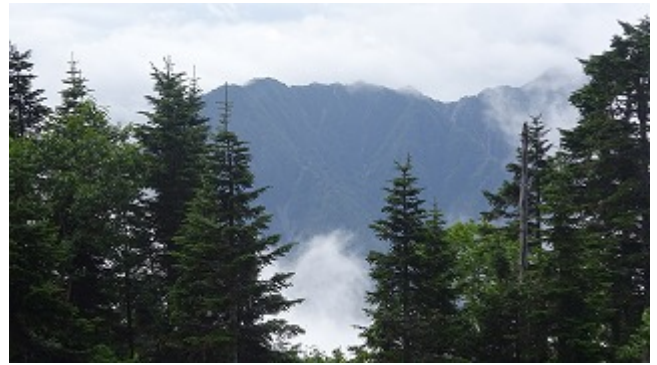
中崎きぶ



タテヤマアザミ



アキノキリンソウ



西穂山荘について 20 分ほどすると、急に上空が明るくなり、見る間に青空が広がり、西には笠ヶ岳の尾根が見られた。これもホンの一瞬で、再びガスに覆われてしまった。 この時、吉松さんは・・・
吉松さんは、独標を超えて丸山に下っている途中であった。 ガスが取れた景色は・・・

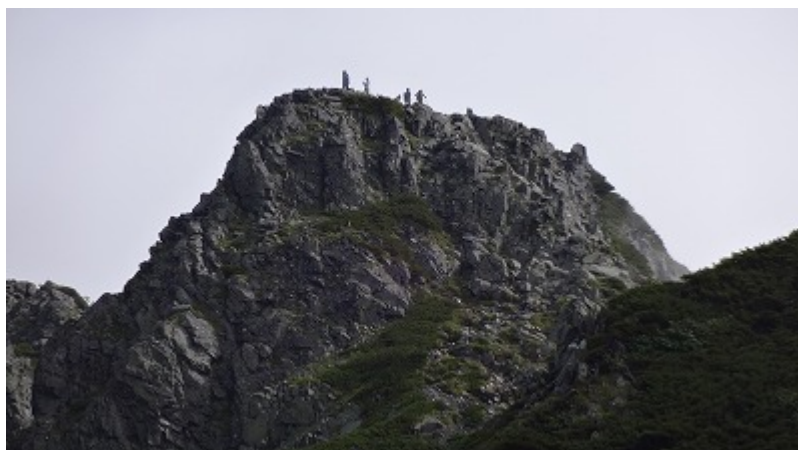


ガスが取れた瞬間に、吉松さんが撮った写真にピラミッドピーク、独標が写っていた。



違う角度から同じく、ピラミッドピークと独標の写真。

濃いガスで、ただ、下を見て黙々と登山道を登ったが、結構痩せ尾根を登ったようだ。



独標は岩稜の絶壁だった。

吉松さんが戻る前に、9:34 中島さん、布目さん、雄さん、能勢さんの4人が温泉に早く入ろうと、ロープウエー山頂駅に向かって下山開始し、石井さん、文さん、熊本は吉松さんを待って追いかける。



9:43 無事吉松さんが戻ってきた。

5分程、休憩し先発組を追いかける(9:48)。先発に15分遅れた。



先発組は登山届出所に10:37に着き、後発組は10:44に到着だった。

ここから山頂駅まではもうすぐで、次の出発は10:45の筈で、先発は乗れ、後発は完全に無理だった。



だが結局、先発組も寸前でロープウエーに乗り遅れ、後発組と山頂駅(西穂高駅)で合流した。



予定していたロープウエー中間駅（しらかば平）にあるビジターセンターの「神宝の湯」に行ったところ、
何と、2、3日前の台風による倒木の影響で施設に被害があり暫く休業とのこと・・・
止む無くそのままロープウエーを乗り継ぎ下山し、日帰り温泉が出来る処を探す羽目となった。



日帰り温泉を探したが、帰りのバス亭（新穂高ロープウエー駅）に最も近い、ホテル穂高に決めた。
但し、温泉入浴は 13 時からとのこと、ホテルでランチを取って待つことにした。



入浴の前に我慢ができず、生ビールで乾杯し、ビーフカレーでランチ後、ヤット入浴し、サッパリして



13:40 のバスで松本駅直行の特急
バスに何とか間に合い、
約 2 時間 30 分で松本バスターミ
ナルに到着（16:10）。



16:58 発の電車まで時間があり、駅そばの「特上鴨そば」等食べて時間調整。



松本駅始発 16:58 スーパーあずさ 28 号で帰路につきました。

終始、濃いガスの中の山登りでしたが、次から次と現れる多彩な高山植物や、独標の急傾斜の岩稜登り、更に吉松さんは西穂高岳登頂を果たす等、それなりに楽しめた山旅ではありました。

同行の皆様、お疲れ様でした。